



盛夏を思わせる暑さが続いた水無月。6月10日～12日の3日間、いいたて希望の里学園で開催された、いせひでこ先生と柳田邦男先生によるワークショップで児童が制作した作品を拝見いたしました。大きなキャンバスに伸び伸びと描かれた絵は、アクリル絵具の特性で意図しないグラデーションも産み出していて、子ども達の心の豊かさに感動しました。両先生方、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

また16日には、CRSスポーツ工業株式会社様と埼玉県春日部市の庄和大風文化保存会の皆様のご協力により、村内で初めての大風あげが実施されました。村の形の中に飯館牛が描かれ、学園生の手形で埋め尽くされた子ども達の夢や希望が詰まった大風です。大風あげに参加した学園生の満面の笑顔に私自身も活力をいただきました。

14日～15日には、「産業団地」の整備に向けて、6月下旬より解体が始まる「相馬農業高等学校飯館校」の見学会を行いました。多くの卒業生を送り出し、村民の皆様にも親しまれてきた学び舎です。見学会は、かつての懐かしい思い出に邂逅するかけがえの無いひと時になったことと存じます。

20日～22日に開催された「バル仙台」に、今年も飯館村が出店いたしました。お酒との相性も良い飯館村産黒毛和牛のメニューが大人気！他にもイカ人參、ナツハゼベール、ナツハゼドリンク、あぶくまもちの苺甘酒、純米酒「復興」、どぶろく「白狼」、Cocittioの焼き菓子、佐須地区の有志の皆様が制作したワインの試飲等々、多様な飯館村のグルメが楽しめるバルとなり、ご来場の皆様にお楽しみいただけただけでなく、引き続き、村産品の魅力発信に力を入れてまいります。

6月議会にて、商工業支援のために5億円の基金を創設いたしました。村内で操業されている企業様はじめ、これから起業や新規参入、事業拡大をお考えの事業者の皆様にご活用いただく様々な補助事業の原資となります。

また今月から随時、企業訪問をさせていただきます。現場の生の声や現況をお聞かせいただき、今後の産業振興や人口増加策に反映していくためです。ご理解、ご協力のほどお願いいたします。

いよいよ夏本番。皆様には適宜、水分をお取りいただき、体調管理には十分ご留意いただけますようお願いいたします。虫の合唱が響き渡り、美しい満天の星空が見られる飯館村の夏を皆様どうぞ存分にお楽しみください。

■ ひとのうごき

結婚おめでとう

氏名	行政区
高橋 拓磨 さん	伊丹沢
國分 志保理 さん	

HAPPY WEDDING!

ひとのうごき 令和7年6月1日現在

人口	今月(前月比)	5月1日～31日までの人口動態
●男	2,256人(-1)	転入 8人
●女	2,184人(-5)	転出 10人
計	4,440人(-6)	出生 1人
世帯数	1,802戸(+5)	死亡 5人
		(住民基本台帳人口)

(5月21日から6月20日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

おくやみ

氏名	年齢	行政区
高野 トシヨ さん	95	大久保・外内
菅野 ミヨノ さん	69	蕨平
高橋 初子 さん	83	長泥
藤井 一二 さん	84	上飯樋
菅野 ウメ さん	93	前田・八和木
石川 一男 さん	86	比曾
佐藤 シツイ さん	80	小宮
大渡 正子 さん	76	草野
林 次子 さん	91	前田・八和木

ご冥福をお祈り申し上げます

『第10回飯館YOITOKO発見!ツアー』  
『飯館・村内1日バスツアー』を合同開催!

6月7日に2つのツアーを合同開催しました。白山神社(草野)では、多田仁彦宮司から神社の由緒を聞き、村天然記念物「白山神社のケヤキ」を見学。草野館では、南相馬市博物館の佐藤義典学芸員から、山中郷や草野館の歴史について聞き、村民有志の「相馬流山踊り」を鑑賞しました。踊り手は、相馬野馬追での披露時と同じ陣羽織を着用。新開茜衣梨さん(草野)の生歌唱に合わせ、素晴らしい舞を披露しました。



他にも山津見神社でオオカミ天井絵を鑑賞したり、「氣まぐれ茶屋ちえこ」で郷土食を味わい、フリーアナウンサー・小野美希さん(左写真の右側)のトークに耳を傾けたり。飯館の魅力に深く触れながら、参加者同士が交流を深めていました。



YOITOKOツアーに27人、1日バスツアーに23人の合わせて50人が参加しました!



皆さんが広報委員! フォト  
いいたて PHOTOリレー

月ごとのテーマで写真を募集、エピソードと共に紹介します。



撮影 松原光年さん(小宮)  
テーマは「アジサイ」



この写真は今年の6月に松原さん宅の庭を撮影したものです。西洋アジサイ(アナベル)が見頃を迎え、その奥にも色とりどりの花々が咲き誇っています。「このアジサイは、仙台の親戚から1株譲ってもらい、そこから増やして今の数になった。それ以外の花も、友人や知人からもらったり、自分が育てた花と交換したりして育てているもので、いろいろな人との交流を通してできている庭です」。数多くの花を育てることのご苦労を伺

うと、「手入れはもちろん大変だけれど、きれいに咲いた花を眺める度に、その花をくれた人達の顔が思い浮かぶ。そうしてその人達との思い出が、いつまでも記憶に残っていくのがうれしいんです」と笑顔で語ってくれました。花を通じた交流はこれからもずっと、美しい花を咲かせ続けていくことでしょう。

8月号 7/18締切	例えば…「七夕」「ヒマワリ」「花火」「お祭り」をテーマに。	9月号 8/15締切	例えば…「お盆」「スイカ」「夏野菜」「入道雲」をテーマに。
---------------	-------------------------------	---------------	-------------------------------

- 写真様式 データ、現物を問いません。 ■ 写真枚数 1掲載につき1～2枚程度。
- 提出方法 電話で写真の詳細をお聞きした後、相談させていただきます。
- 選考 応募多数の場合は選考します。 ■ 報償 1掲載につき1,500円。

問 村づくり推進課企画定任係(広報担当:巻野) ☎0244-42-1613